

## パヴィア、Pavia

パヴィアには、修道院以外にも見所があります。パヴィアはローマ帝国後に、イタリアの首都であった時期もあり、歴史のある年です。パヴィア大聖堂（ドゥオモ）は1488年に建設が始まり、1989年に完成しました。ミラノのドゥオモと同様に完成に500年の歳月を要しています。中央のクーポラはイタリア国内で3番目の大きさです。また、11世紀建造されたサンミケーレ教会、6世紀から建設されて12世紀に完成したサンピエトロ・イン・チェルドーロ教会等の教会とヴィスコンティ城、コベルト橋があります。また、1361年創立のパヴィア大学もあります。

パヴィアの街はそれほど大きくありませんので、駅から歩いて観光できます。駅からヴィットリア広場までは、石畳の道が徐々に細くなり中世のムードを盛り上げてくれます。ヴィットリア広場には、カフェが並んでいます。この広場に建つプロレット（宮殿）の横にドゥオモを見ることが出来ます。但し、大きなクーポラは現在修復中でカバーで覆われていて見る事が出来ません。ドゥオモの中に入っても、入口付近だけ公開されていて、奥は修復中で入ることが出来ません。クーポラだけではなくドゥオモ自体も大きいので、中もさぞかし立派なのだと思いますが残念です。

ドゥオモから、コベルト橋は直ぐです。テチーノ川沿いは整備されていて気持ちがいいところです。続いて、サンミケーレ教会、パヴィア大学、ヴィスコンティ城と歩いて見て回ることが出来ます。パヴィア大学の前の通りはヌオーボ通りで、パヴィアのメイン通りです。広い道ですが石畳なので車は少なく歩きやすい道です。道沿いにはミラノのブランドショップが並んでいます。ヴィスコンティ城周りは公園で、城自体も非常に良く保存されています。内部は博物館となっていて、博物館（6ユーロ）に入れば、城の中まで見ることが出来ます。博物館には、ローマ時代の遺物、絵画が数多く見られますが、それと一緒に城の内部のフレスコ画も、展示物とともに見ることが出来ます。また、木製のドゥオモの大きな模型までありました。

サンピエトロ・イン・チェルドーロ教会には、聖アゴスティーノのアルカという大理石の彫刻が主祭壇においてあるのが有名です。他は何もありませんが、現在のドゥオモの中に入るよりも、こちらのほうが良いと思います。全部歩いて観光すると、3時間から4時間くらいかかります。このコースには新しい建物が少ないので、街の雰囲気は良くゆったりとした気分になれます。

## 写真：





パヴィアへはサンドナート MM3 からロゴレドまで地下鉄（1 駅）で行き、ロゴレド駅から列車に乗ります。3.05 ユーロです。曜日にも寄りますが、30 分から 1 時間おきに列車が出ています。ロゴレドから急行なら 1 駅で 18 分でパヴィアに到着します。日曜日は午後 4 時台のミラノ行きがありませんので、この時間帯に帰る場合は、列車の時間を調べておいて、それに合わせて観光するほうが良いと思います。帰りのチケットを自動販売機で購入したのですが、この駅にも英語表示の自動販売機がありますので安心です。但し、Destination は自動表示されませんので MILANO ROGOREDO と入力してください。